

平成29年度第4回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表  
その1

議員名	件名	要旨
1 谷口 武雄	1. 中学校統廃合後の跡地活用について (町長)	他市町村では、定住促進や企業誘致、文化、芸術の拠点等に活用されている所もあります。(池尻中、鷹峰中)
	2. 公立小学校の避難所機能について (教育長)  (町長)	①川崎町の小中学校は、災害の避難所に指定されていますか。 ②救援物資が届くまでの期間、必要な機能をはたせるのか。 ①携帯トイレやマンホールトイレの設置。 ②非常用の自家発電などで電力をまかなえるか。 ③校内に倉庫を持ち、物資の備蓄機能があるのか。 ④貯水槽やペットボトル等の飲料水を確保しているか。 数年後には統合中学校ができると思いますが、上記の①～④の項目は確保しますか。
2 松岡 久代	1. 川崎音頭の普及について (町長) (教育長)	①10年前、川崎町制70周年事業の一環として、川崎音頭の振り付けコンテストがありましたが、今現在、どのようになっているのでしょうか。 ②普及していれば、町主催の盆踊り大会の総踊りとし、また、供養の盆踊り大会にする考えをお尋ねします。
	2. 小梅ちゃんキャラクターを町内外に拡充していくことについて (町長)	川崎町をイメージアップするには、小梅ちゃんキャラクター以外ないと思うのですが、私案がございましたらお聞かせください。
3 原 節雄	1. 高齢者福祉政策について尋ねる	特別養護老人ホームの申請について、県の意見書提出を拒んだ理由の説明を求める。
	2. 焼却灰処分場予定地中止後用地活用について	3月の一般質問後、弁護士と協議し、6月定例会で契約書売買に瑕疵はない。用地購入等で国に2億円の一般財源で返還した。町民に多大な損失と負債についてたずねる。
	3. 川崎町には生活保護者はいない	6年前、手嶋町長あなたの発言です。今の考え方をたずねる。
4 寺田 響	1. 安宅交流センターの宿泊について	現在の条例では、安宅交流センターは研修目的の宿泊は可能になっています。宿泊施設としては基準が曖昧であり、火災や緊急事態が発生した場合の対処が危惧されます。 現行の条例改正も含め、宿泊施設として機能するように整備する必要があると感じますが、町長の考えを伺います。
	2. 国民健康保険カード化について	他の自治体では、国民健康保険の被保険者証が個人カード化されているところもありますが、本町の国民健康保険カード化は平成31年度までに実施と聞いています。もっと早く実施できないのでしょうか。
	3. 農業後継者育成について	農業は、今や深刻な高齢化の問題を抱えています。農家の平均年齢は、68.5歳、ほぼ70歳に近い世代が一生懸命農業に従事していることとなります。今後の農業後継者育成について、町長のお考えを伺います。

平成29年度第4回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表  
その2

5 櫻井 英夫	1. 美しい町づくりの推進について (町長)	<p>①焼却場、最終処分場建設地が大任町に結着し、安堵感が漂う一方、環境意識の低下が懸念される。分別収集や資源ごみのリサイクルなど、環境への関心を高める政策をどのように推進するのか。</p> <p>②河川環境の保全、水質向上への努力が、遠賀川流域住民に求められている。環境推進員、アドバイザーなどの制度を立ち上げ、環境美化運動、美化イベントを計画的に推進すべきではないか。</p> <p>③本町の観光拠点として、農産物直売所「De・愛」が整備されているが、投資が中途半端。集客力を高めるために、更に魅力的な環境整備を図る必要があるかどうか。「De・愛」下河川の土砂浚渫計画の有無は。</p>
	2. 各種審議会の活性化について (町長)	<p>広聴と行政力向上に寄与する目的で、各種審議会が設置されているが、審議会の意義、委員の選任、開催頻度、審議内容などは、常に点検され、その活用が図られなければなりません。各種審議会の現状について、見直し、活性化する点はないか。審議会数、委員数、再任率、費用弁償総額予算等の現状はどうなっているか。</p>
	3. 中学統合後の廃校利用について (町長) (教育長)	<p>旧安宅小、旧大峰小校舎は、ふれあいセンターとして再利用されているが、有効活用について、さらに創意工夫が求められる。3年後には2中学校校舎が不要になるが、同時進行で再利用について考えておく必要があるが、どうか。川崎特別支援学校の移転、不登校・引きこもり児童生徒の全寮制学校の誘致を提案する。</p>
	4. 児童の陸上記録会開催について (教育長)	<p>極端な学力低下を来して以来、目下補習に力を入れているが、徳育、体育もまた重要。徳育はボランティアの実践にしかず。体育に資するために、児童対象イベント、陸上記録会開催を提案する。ちなみに、全国大会も開催されており、予選会として開催しては。</p>
6 手嶋 真由美	1. 防災・減災対策の推進を	<p>①9月1日は防災の日でしたが、本町ではどのような取り組みをしましたか。</p> <p>②今後、自主防災組織を増やしていく計画はありますか。</p> <p>③学校での防災教育の取り組みや防災訓練の実施はどうしていますか。</p> <p>④女性や高齢者にもわかりやすい防災ハンドブックの作成が必要ではないでしょうか。</p>
	2. 特定健診、総合健診の取り組みについて	<p>①6月から行われている特定健診、総合健診の受診率向上の取り組みはどうしていますか。</p> <p>②特定健診対象者数と、現在までの受診率がわかればおしえてください。</p> <p>③12回の健診日それぞれに検診項目の定員は何人でしょうか。</p> <p>④本年度から乳がん検診での視触診は除外されているので、お風呂で使えるチェックシートを配布してみてもいいでしょうか。</p>

平成29年度第4回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表  
その3

議員名	件名	要旨
6 手嶋 真由美	3. 「LGBT」 「LGBTQ」への理 解促進について	①LGBT 当事者の人権保護や理解促進の対応策を考えていますか。 ②LGBTQ の子どもたちや、LGBTQ かも？の子どもたちの抱える現状は厳しく、知らない間に傷つけられていることが多々あるようです。周囲の子どもたちや保護者、教職員の対応についての研修が必要ではないでしょうか。 ③役場での窓口対応については、申請用紙の記入欄に、名前を呼ぶときの呼び名を書いてもらったり、窓口にレインボーカラーの提示をしてはどうでしょうか。
7 千葉 加代子	1. 手話言語条例の 制定について	①手話を言語と認め、聴覚障がい者が暮らしやすい社会環境整備のため、手話言語条例の制定を ②議会の傍聴を聴覚障がい者が事前に希望した場合、社会福祉課の臨時職員の方を手話通訳者として出席させることはできますか。 ③受付付近に、お手伝いいたします等の案内板を
	2. 鮎返り付近に公 園の設置を	①城山に公園を造る予定ですが、乳幼児や高齢者が手軽に楽しめる川を利用した公園の設置を ②雪舟ロード、De・愛、魚樂園に続く川浴いを開発し、気軽にウォーキングや川遊びを楽しむような計画はできませんか。
	3. 教師の勤務実態 について	①教師の勤務時間が過労死ラインを超えたと言われていますが、本町の実態把握はできているでしょうか。 ②部活動の顧問の実態は ※例えば、部外者が担当している場合 ③講師の処遇はどうなっていますか